

令和4年度 第5回 酒田市体育施設整備懇談会 懇談要旨

日 時	令和5年2月17日（火）10：30～11：40
場 所	酒田市役所本庁舎3階 第三委員会室
参 集 者	委 員／池田里枝、中條庸右、莊司敏博、尾形律香、齋藤勉、丸山清、川守田義則、丸山昌彦、富樫惣一、齋藤美昭 酒田市／池田教育次長、齋藤課長、土門主査兼係長
配布資料	・次第 ・資料1 酒田市体育施設整備懇談会及び庁内会議の経過 ・資料2 酒田市公共施設経営検討委員会設置要綱

1. 開 会

2. あいさつ（委員長）

3. 懇談（進行：委員長）

光ヶ丘野球場及び酒田市体育館について（資料説明：事務局）

【懇談会資料】資料1 酒田市体育施設整備懇談会及び庁内会議の経過

資料2 酒田市公共施設経営検討委員会設置要綱

①光ヶ丘野球場について

（副委員長）

○資料には電光掲示板の改修や照明塔の撤去があるが、スタンドの防水改修は人命にかかわるものではないことから実施しないのか。

⇒（事務局）スタンドの防水改修は、令和5年度は実施しない。令和6年度に実施するという保証もない。

（委員長）

○来年度の予算案が出ているが、教育費は昨年度比で3.7%増えている。これは国体記念体育館と八幡体育館の改修工事が関連している。そのことから、市ではスポーツ施設の整備を軽んじているものではない。

（委員）

○結局は今の野球場をずっと使い続けていくことになってしまう。話し合いをしても不満ばかりが出てきて、時間をかけてもどうにもよくなるのではないのか。

（委員）

○野球関係者は光ヶ丘野球場のことをほとんど見ていない。野球をするなら鶴岡市やほかに行く。

○来年は野球場のトイレを直す、再来年は雨漏りを直すといった中期的な計画があれば、市民も前を向いていけると思う。

（委員）

○今の野球場を、市はどう整備しどう活かしていくのか。酒田でもプロ野球選手が出てきている中、それをどう受け止め未来につなげていくかビジョンを示してほしい。

○今はできないが今後段階的に整備していく、県と協議しながら庄内に県営野球場を誘致

する、そのため二市三町で検討していく、というような酒田市の方針が出されると、夢が違ってくる。

(委員)

- 光ケ丘野球場はすべてがダメだが、野球ができる状態をつくることができればよいと思う。雨漏りはしかたないとしても、野球ができる状況まではつくと、野球場の意味をなさなくなる。
- 以前は水はけのよいグラウンドだった。多少の雨でも問題にならないように水はけの悪さが解消できれば、高校野球もできるのではないか。

(委員)

- 光ケ丘野球場は、酒田地域で野球をする子どもたちの聖地として整備していただきたい。地区大会を開催するときの、憧れの場所になってほしい。あそこで野球ができる、勝ち上がりた目といった目標になる会場であってほしい。
- まずは危険な照明塔を撤去する、次に雨漏りを直す、といったビジョンが示されれば野球連盟の方々も安心できるのではないか。最終的にはお金の話になってしまうが、今後の市の状況に期待したい。

(委員)

- 故障している電光掲示板の改修や、危険とされる屋外照明設備の撤去をしていただけなのはありがたい話である。ただ、それだけにはとどまらないので、長いスパンでの改修になるが、子どもたちや選手に喜んでもらえる野球場にしてもらいたい。
- 電光掲示板の改修と照明塔の撤去は、いつ頃に実施されるのか。

⇒(事務局) 電光掲示板は納期が7~8か月かかるとのことで、改修が終わるのは冬頃になる。実際のところ令和5年度シーズンの野球場での試合では使うことができない。

ソフトボールのスローピッチの全国大会が予定されていて、そのほかの大会も令和5年度の日程があると思う。そのため照明塔の撤去の発注時期などを、後ほど相談させていただきたい。

(委員長)

- 電光掲示板の改修は、価格の高騰や資材の確保の面から、令和5年度に予算はおくが、今年度の令和4年度のうちから債務負担行為を設定して進めている状況にある。

(事務局)

- 入札公告は済んでいるので、今後受注者が決まったら再度納期や工程を確認したい。

(委員)

- 令和5年度に電光掲示板の改修と照明塔の撤去を行うが、その後の令和6年度以降はどうなるか分からないというのでは納得できない。令和4年10月17日の庁内検討会議では、大変よく判断してもらったと思うが、これが反映されていないことになっている。野球場で野球ができないのでは困る。

- 照明塔は撤去されるが、照明の更新の考えはないのか。

(課長)

- 照明塔があれば一番いいのだが、今の段階では未定としか回答できない。

(委員)

- 以前にも話したが、照明塔のない野球場では大きな大会が開催できない。土や芝生のこともあるが、照明がないと大きな大会は招致できない。

②酒田市体育館（スワンスケートリンク）について

（副委員長）

○以前に提案があった、光ヶ丘公園内へのスケートリンクの設置は金額が大きいこと、周囲が松林であり管理が大変なこと、テント方式の建物では温度管理が大変とのことであった。

○二市三町で県に要望するというのはできるのだろうか。酒田市と鶴岡市で綱引き状態にはなっていないか。庄内でまとまっての要望は可能なのか。庄内地区出身の県会議員の皆さんから頑張ってくださいとしかないのか。そうしたことにも働きかけてもらいたい。

（委員）

○漠然としたまま意見を言って終わってしまい、時間が経てばスケートへの熱が冷めてしまうのではないかと。そのうち、スケートリンクにまでお金をかける必要はない、となってしまうのではないかと。

（委員）

○二市三町で要望するのであれば、それを市民に出して示してほしい。要望を出してうまくいくのかは分からないが、そうした具体的な形を見せるべきではないかと思う。

○スケートは酒田の目玉であり小学校の授業でも取り入れられてきたところだが、今後冬季間の授業でそれに代わるものはなにか考えられるか。

○これまで二市三町で要望して形になったものが、庄内地区にはあるのだろうか。

（委員長）

○これまでだと日沿道の道路、庄内空港、公益文科大学、港湾がある。

（委員）

○鉄道関係、特急いなほの関係もある。

（委員）

○県で検討しているスケートリンクがいつ、どこにできるかは分からない。鶴岡のスケートリンクは年間で7千5百人程度の利用者数だが、酒田のスワンスケートリンクはかなり前に今シーズンの入場者数が1万人を超えた。冬季間の観光地として県外の方からも喜ばれている。

○市体育館の機能はなくしたとしても、県のリンクができるまで今のスケートリンクの配管等をそのままにしておき、冬季間だけスケートリンクとして使うというような話は、公共施設経営検討委員会で検討されていたか。

（委員長）

○市体育館はそもそも耐震性がない。以前、堤町にあった市営プールでは、塩素のこともあったと思うが天井の部材が落ちてきた事故があり、それによって光ヶ丘への移転に拍車がかかった。八幡体育館や市体育館も、危険性がある施設で市民が活動するのは避けなければならない。市体育館は改修ではなく使えないものとして結論している。

（委員）

○お金をかけない方法として、自分でもスケート場整備の案を作成してきたので皆さんにお示ししたい。

○スワンスケートリンクの冷凍機は整備すればまだ使える状態にあるため、市の浸水区域ではあるが、県のスケートリンクができるまでの間、旧港南小学校のグラウンドの一部にスケートリンクを設置してはどうか。令和5年度シーズンが終わったら、解体と同時にスワンスケートリンクの設備を移せば、再び設置する必要がなくなる。上物の建物だけは必要になる。地盤が弱いので地盤改良にお金はかかる見込みではある。

○テント方式の上屋でも、シーリングという方式で天井に銀の幕を断熱材として貼ると、温

度がだいぶ抑制される。こうしたものを使ってよく通年リンクとしても使用されている。そうすればお金をかけずに、今の設備をそのまま使って、なおかつ市の土地にスケートリンクが設置できる。資材倉庫になっているところは休憩室にする。資材費はかからず、冷凍機もそのまま。ただし屋根が必要になる。練習ができればいいので観客席は要らない。

- 広いグラウンドなので 60m×30mの規格サイズはとれるが、このサイズのリンクを冷やすだけの冷凍機の容量はない。このサイズを造ってしまうと県で建てないことになってしまうので、今のをそのまま活用するというで、県のスケートリンクができるまでの仮設案として検討いただきたいと思う。
- 市長から、できるだけお金をかけないで考えてほしいと要望されたことから、私なりに考えた方法として示させてほしい。建物だけは以前の資料にあった金額がかかる。
- この方法だと冷凍機室からリンクまでが今の体育館よりも近いので、配管パイプも短くて済み冷凍効率も上がって今より冷やせることになる。スケートで使用する範囲は旧港南小グラウンドの一部に限られる。
- スケートリンクをただ止めるのではなく、いろんな検討がなされた方がよいと思う。

(委員)

- スケートリンクに特化した施設を検討するのはどうだろうかと考えていた。現在あるものを利用するというスケート協会の案があったが、そういったことも検討したのかを伺うつもりでいた。
- 県への要望がいつできるのか、これから要望を出すのではスケートリンクの完成はいつになるのか。それまでの間スケートリンクがなくなり、その間に要望が風化してしまわないか。経過措置としてのスケートリンクの設置について、既存の設備を利用したこの案の検討があっている。
- 市体育館が 47 インターハイのために造られてから 50 年が経過した。国体記念体育館も 67 国体ということで 30 年が経過したとすれば、もうすぐ市体育館と同じことを考えなくてはならなくなる。アランマーレが連勝しているが、1 部リーグでは国体記念体育館は本拠地になれないので、内陸の体育館が本拠地になるだろう。そんなところも見越して計画的に改修しなければならない。
- 卓球競技では T リーグや日本リーグがあるが、今の市の体育館では観客席が少ないとされている。建設した当時に観客席が 1 千人というのは大きい方だったが、今では 2 千～2 千 5 百人以上でないとアリーナとは言えない時代になってきている。
- 県への要望はこれまでも行ってきたが、庄内に県立という建物がない。空港や港、鉄道とあるが、県立の体育館や博物館、美術館は庄内にはない。内陸偏重といわれている中、庄内に体育施設を造るという意見を出して行ってほしい。この懇談会が、施設誘致の新たなスタートになる。
- 市体育館の利用の廃止はやむをえないと思うが、ここ 30 年間、国体記念体育館と市体育館が共存して酒田の競技が発展してきたと思う。改修工事等をする際には、各競技団体からこれまで要望が出されていたと思うので、それらを踏まえた改修等をしていかなければならない。

(委員)

- スケートリンクについては、スケート協会と光ヶ丘の案を検討し、その結果、旧港南小学校の案が出てきた。金額のことも考え、スケート協会が示した案を今一度検討してみてもいいかがか。

(委員)

- スケート協会での新たなスケートリンクの検討していただいたことは大変ありがたい。子どもたちがいろんな競技に携われるように、リンクのサイズの検討はさまざまあるが、な

んとか存続していけたらと思う。あとは酒田市と鶴岡市で一緒に県へ要望するのを期待するしかないかと思う。

(委員)

- 市体育館の懇談会には出席していないのでなんともいえないが、せつかくこのような案があつて可能性があるのであればぜひ検討していただきたい。
- 自分は港南小学校に通い、市体育館ができたころにいたので体育館がなくなるのは寂しいが、現状が危険だというのであれば野球場と同じように早く対応したほうがよい。

(委員)

- 市体育館の廃止に伴う、スワンスケートリンクに替わるものとして出された今回の案は素晴らしいものと思う。長年市民が楽しみにしていた施設が急になくなるのは大変寂しいこと。できる限りの対応として応援したいと思う。

(委員長)

- 以上をもって懇談を終了させていただく。
- 皆様から頂戴した意見と、これまでの懇談会の経過と庁内会議の結果について、来週開催される第3回スポーツ推進審議会に報告させていただく。

4. その他

なし

5. 閉会